

令和2年度

長浜農業高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・ 基本的な生活習慣の確立と学習の基礎・基本の定着を図り、生徒の実践力と進路意識の高揚を図る。
- ・ 農業教育を通じて逞しく生きる力を育み、将来、農業従事者や農業理解者として日本の農業の発展に寄与する人材を育成する。
- ・ 生徒会活動、部活動、農業クラブ活動を活性化し、生徒の自主性の向上を図る。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の教育目標をもとに、信頼される学校経営を行っている。	A	A	A
	地域との連携を密にし、農業高校の特色を生かした学校づくりを行っている。	A	A	A
2 学習指導	全校で朝活動を実施し、規律ある授業態度を育成している。	B	B	A
	授業の目的を明確にし、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	B	A	A
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、個に応じた指導を行っている。	A	A	A
	学校生活全般において、ルールやマナーを守る規範意識の高い生徒を育てている。	B	B	B
	「いじめは、どの学校でもどの子どもでもおこりうる」という認識に立ち、日頃からいじめを許さない学校づくりを行っている。	A	A	A
4 進路指導	望ましい勤労観・職業観を育成し、進路目的意識の早期確立を図っている。	B	A	A
	進路の手引きや進路資料を整備し、進路指導の相談体制を整えている。	A	A	A
5 特別活動等	生徒会活動やHR活動を、生徒が主体的に計画や運営ができるようにしている。	B	B	B
	学校農業クラブ活動や諸イベントを通じて、地域との連携を深め、生徒の社会性を養っている。	A	A	A
6 学校図書館	幅広いジャンルの図書をクラス文庫に収録し、読書習慣を育成している。	B	A	A
	図書館だより等で情報を発信し、図書館利用の啓発が行われている。	A	A	A
7 保健・安全指導	生徒の健康・安全の確保とともに、事故・怪我・病気等への予防について適切に対応している。	A	A	A
	カウンセリングや関係機関との連携をとおして、教育相談体制を整備している。	B	A	A
8 人権教育	お互いを尊重した、明るく生き生きとした学校づくり、学校環境をつくっている。	B	B	A
	中学校や関係機関との連携を密にし、生徒の健全な育成に努めている。	B	B	B
9 環境教育	校舎・校庭等の学習環境の維持改善を積極的に行っている。	A	A	A
	冷暖房や照明器具の適正な使用など、持続可能な社会に向けた取組を実践している。	B	A	A
10 事務・管理	文書管理・情報管理・施設設備管理を適切に行っている。	A	A	A
	来校者や電話での対応など、丁寧に行っている。	A	A	A
11 その他 学校の取組み	食の安全安心、地球負荷の軽減を考え、環境にこだわった農業を推進している。	B	A	A
	将来を見据えた魅力ある農場運営を行っている。	B	A	A

- (注) ・ 評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・ 自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・ A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。